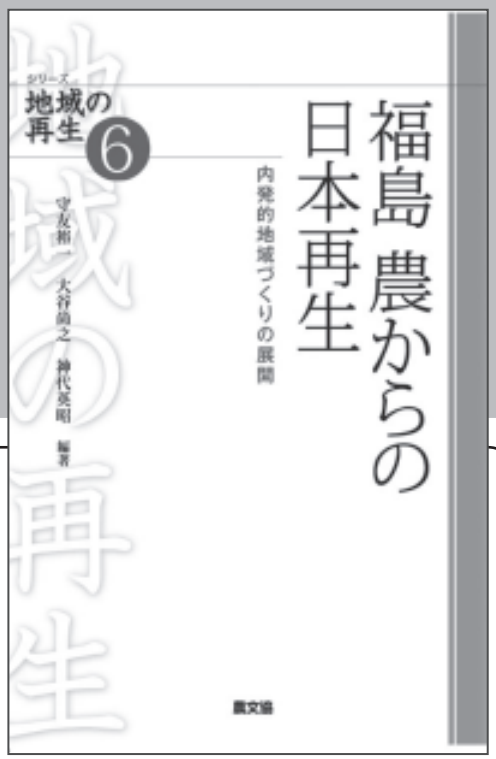
原発災害、口蹄疫、炭鉱の閉山、日本一高齢化が進む村……
困難な状況の中に未来社会を拓く鍵がある

シリーズ地域の再生 第6巻

福島 農からの日本再生

内発的地域づくりの展開



守友裕一・大谷尚之・神代英昭 編著

定価2,600円＋税 四六判上製/356頁

「まめで達者なむらづくり」の福島県鮫川村、「までいの村」の飯舘村、「ゆうき（有機農業）の村」の東和町などの福島の村々では早くから食・農、エネルギー、健康の自給に取り組んできた。原発災害がこれらの地域の存立条件を大きく揺るがし、住民の分断まで生みだすなかで、農と地域社会再構築に必死に取り組む姿をとらえる。また口蹄疫感染地である宮崎県川南町や閉山となった産炭地である北海道空知地区、日本一の高齢化率の群馬県南牧村など全国の住民主体の地域づくりと結んで、地域からの日本再生の道を展望する。

〈目次〉

第Ⅰ部　福島発　農からの地域再生
序　章　東日本大震災後の農業・農村と希望への道
第１章　「まめで達者な村づくり事業」3.11の前と後―鮫川村―
第２章　住民による放射線量調査と新たな地域づくり―伊達市霊山小国地区―
第３章　住民自治組織による里山再生･災害復興プログラム―二本松市東和地区―
第４章　原発災害からの再生をめざす村民と村―飯舘村―
　　「おカネの世界」から「いのちの世界」へ
第５章　原子力災害に立ち向かう協同組合

第Ⅱ部　内発的な地域づくりの展開
序　章　内発的な地域の発展とは何か―地域の再生と内発的発展論―
第１章　地域産業連関からみた口蹄疫被害とその復興―宮崎県川南町―
第２章　農山村発　コミュニティ・エネルギーの胎動
　　［海外からの視点］ドイツ農村の実践に学ぶ再生可能エネルギー
第３章　産業遺産を生かした産炭地域の再生―北海道空知地域―
第４章　地域ブランドづくりとＢ級ご当地グルメ―栃木県宇都宮市―
第５章　高齢化日本一の村でのＩターン促進活動と地域支援―群馬県南牧村―
　　［海外からの視点］Local Economic Developmentの視点から見た地域支援のあり方

◆執筆者（執筆順）
守友裕一（宇都宮大学）大谷尚之（愛媛大学）神代英昭（宇都宮大学）鈴木治男（前鮫川村総務課長）小松知未（福島大学）
飯塚里恵子（千葉農村地域文化研究所）菅野典雄（飯舘村村長）小山良太（福島大学）棚橋知春（福島大学）根岸裕孝（宮崎大学）
蜂屋基樹（農文協）板橋衛（愛媛大学）吉岡宏高（札幌国際大学）牧山正男（茨城大学）長谷川安代（国際開発コンサルタント）

送料は1回400円・「シリーズ地域の再生全21巻」お申込の場合は送料サービス

氏名（団体名）	ご住所（〒　　-　　）
（ご担当者名）	TEL（　　）　　-　　E-mail　　@

ご注文　**福島 農からの日本再生 内発的地域づくりの展開**

ISBN 978-4-540-13207-0　＿＿＿冊

農家に学んで70年 農文協
農山漁村文化協会（農文協）〒107-8668 東京都港区赤坂７－６－１
TEL03-3585-1143　FAX03-3585-3668